

事例 33 花粉の少ないスギの生産拡大に向けた取組

(九州森林管理局 大分西部森林管理署)



- ・宮崎県みやまきのじょうし都城市とんげん 権現国有林
- ・都城支署管内での穂木採り
(令和6(2024)年2月)



- ・大分県くすくん玖珠郡くこのまち九重町
- ・コンテナ苗の生育状況確認
(令和5(2023)年11月)

大分西部森林管理署では、大分県での花粉の少ないスギの生産拡大に向けた取組への支援を行っています。大分県では、県内の苗木供給割合が約60%で推移しており、認定特定増殖事業者*及び苗木生産業者と連携して、花粉の少ないスギの穂木からコンテナ苗を生産する取組を進めています。

国有林からの穂木の供給に当たって、同署管内には県が指定する花粉の少ないスギの推奨品種の造林地が無いことから、令和6(2024)年2月に同署職員が県内の認定特定増殖事業者に同行し、宮崎森林管理署都城支署管内の造林地において花粉の少ないスギ品種の穂木採りの指導を行いました。現在、同増殖事業者がコンテナと育苗箱で穂木から苗木を栽培しているところであり、今後、特定母樹の採取源としての指定に向けて、関係機関と調整していくこととしています。

引き続き、地域における花粉の少ないスギの生産拡大に向けて取り組んでいきます。

* 間伐等特措法に基づいて、特定母樹の増殖に関する計画(特定増殖事業計画)を作成し、都道府県知事の認定を受けた事業者。